

## はじめに

2018年度は、長年の念願であった箱根駅伝の総合優勝を、陸上競技部が初めて成し遂げるという快挙をはじめとして、躍進する東海大学の姿が具現化された年であったように思います。海外研修航海も50周年を迎え、その記念事業として例年よりも遠方にあるチリ共和国のイースター島を目指しました。長い船上生活の末にモアイ像を目の当たりにした学生たちは、航海を通して多くの学びを得たことと思います。

一方、他大学では入学試験において性別などによる差別的な対応があったことが表面化するなど、大学界全体の信頼を揺るがしかねない事態も発生しており、本学も自身の点検・評価体制をより確実に信頼性の高いものにしていく必要があるとの認識を新たにしました。

さて、本学は公益財団法人大学基準協会による7年に一度の認証評価を2017年度に受審し、2018年3月14日付で「適合」と認定されました。その際に、学部・大学院における定員管理や、大学院におけるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの整備と検証体制、研究指導計画の学生への明示等について一部に課題があることが指摘されました。そのほとんどは2018年度末までに対処することができましたが、大学院における定員管理や研究指導計画の明示については、引き続いて改善してゆかなくてはなりません。

大きな教育改革の取り組みとしては、2018年度カリキュラム改定が挙げられます。平成25（2013）年度に採択された文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」として、社会連携・社会貢献活動である「To-Collabo（トコラボ）プログラム」が推進される中で、全学必修である現代教養科目の中にパブリック・アチーブメント（PA）科目群を配置しました。「シティズンシップ」「ボランティア」「地域理解」「国際理解」のPA 4科目は、現代教養センター、国際教育センターによってその内容が吟味され、全キャンパスで同時に開始されました。授業の中ではグループワークなどが採り入れられ、学生が主体的に学ぶ場を設けることができました。また、本学の特色的なコア科目である「現代文明論」は、これまで1年次生を対象としていたものを、現代教養科目を履修して学修段階が進んだ2年次生に開講する形態へ変更され、より深化した内容を理解できるようにしました。現代文明論コンテンツ制作委員会が作り上げた共通のビデオ教材を基に、「地域社会の理解」「国際社会の理解」「持続可能な地球環境」の3分野について、それぞれ3種類の講義が用意され、さらに「まとめと振り返り」が行われる予定です。湘南キャンパスの2号館大講堂では、Wi-Fiシステムを大人数の利用に耐えられるよう刷新し、スマホを利用したリアルタイムアンケートシステムを運用できる体制を整備しました。2019年度からこの新しい現代文明論の授業が、学生に向けて開始されることとなります。

以上に加えて教育の質を検証するために、これまで新生に課していた基礎学力試験に代えて、2018年度からはジェネリックスキル測定として「4つの力アセスメント」、英語技能検定として「GTEC」を実施することにしました。これらは、学生に自身のスキルレベルの自覚を促すとともに、時を経て繰り返し実施することで能力向上を確認するものです。これらの結果を基にしたIR活動やFD活動が展開され、教育システムのPDCAサイクルがさらに進展することに期待します。

2018年度の新たな取り組みとして、従前のMS（ミッション・シェアリング）シートを廃止し、新たに中期目標および単年度目標に対応した「事業計画（重点取組項目）」を作成し、実行することを始めました。学部・センターのすべての長から直にヒアリングを実施する機会を設け、大学のガバナンス機能強化を一層

強固なものにすることができたと考えます。来年度からは大学院研究科長・研究所長からもヒアリングを行いたいと考えています。

2018年度は、2024年度の再受審に向けてスタートを切る年となりました。「大学評価委員会」からは内部質保証体制をより良いものにするために、2019年度からは学生代表者が同委員会に参画する機会を設けることが必要であるとの答申も出され、実現に向けた調整が行われています。このように、大学改革の流れは留まることなく、むしろ加速しつつあり、皆様には様々なご負担をおかけしております。この場をお借りして、これまでのご尽力に感謝申し上げますとともに、今後もさらなる質の向上を目指して、各職場における大学改革・教育改革への取り組みを継続していただくことをお願い申し上げます。

関係各位におかれましては、ぜひ本報告書にお目通しいただき、教育研究の質向上に向けてご活用いただくとともに、お気づきの点やご提案などがございましたら、お聞かせいただければ幸いに存じます。

2020年3月

東海大学学長

山田清志